

WRO Japan2021 中国地区予選会で第1位

8月7日(土)にコンピュータ部の2年生8名(3チーム)がWROJapan2021 中国地区予選会に出場しました。自律型ロボットを制作してミッションをクリアしていくという競技です。参加した生徒たちはロボットの制作や制御プログラムの制作を熱心に行っていました。その結果、1チームがレギュラーカテゴリーエキスパート競技高校生部門で第1位となりました。

第1位となった生徒たちからは、「一からのプログラムで難しかったが仲間と協力して問題を解決していくことができた。」「別の大会でもロボットを作ったことはあるが、その大会とは内容が異なっていてどのように作ればよいか見当が付かなかったけど、同じ大会に出る仲間に教えてもらうなどして完成させることができたので良かったと思った。」との感想が出されました。



スタンフォード大学院生との交流

8月28日(土)に、岡山県 GMIX プログラムで受け入れをしているスタンフォード大学院生の Dan Richey さんとオンラインで交流を行いました。Dan さんは様々な学校や職場を経て、現在はスタンフォード大学大学院で教育について学ばれているとのことでした。

オンライン交流を行うにあたり、事前に質問を考え、当日は英語で質疑応答を行いました。

本校生徒は、「高校生活でやっておいた方がよいこと」や、「コロナウイルス感染症が経済に与える影響をどう考えるか」等の質問を行い、その回答をしっかりと聞いていました。

本校を含め岡山県内6校の生徒が参加しており、Dan さんとの交流だけでなく他校の生徒からもたくさん刺激を受けていました。生徒から、良い経験になったといった声や、英語を聞き取ることが難しかったので、もっとリスニングの勉強をして聞き取れるようになりたいという感想がありました。この交流をより良い学校生活に向けて役立てるとともに、各自の進路選択のきっかけにしてほしいと思います。

